

クイックマニュアル

φ6.9MM
ARTICULATING VIDEO BORESCOPE
先端可動式デジタル内視鏡

VJ
ADV

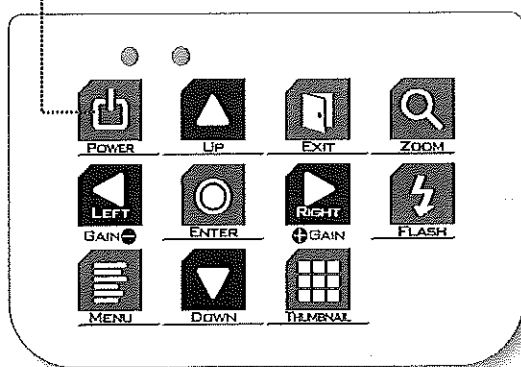
電源を入れる

取扱説明書 P.6

1.  ボタンを1秒間押します。⇒電源がONになります。
2. もう一度  ボタンを1秒間押します。
⇒電源がOFFになります。

電源 ON/OFF

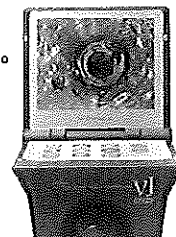
本体上面ボタン



映像を映す

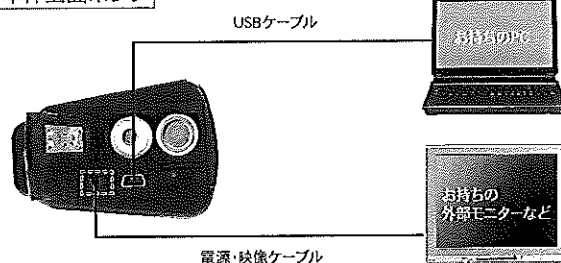
取扱説明書 P.6

1. 本体電源をONにするとカメラ映像がモニターに映しだされます。



2. 付属の電源・映像ケーブルを使用することで、外部モニターに映しだすことができます。

本体上面ボタン

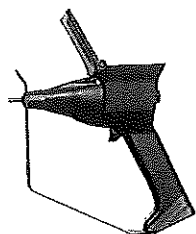


映像を保存する

取扱説明書 P.7

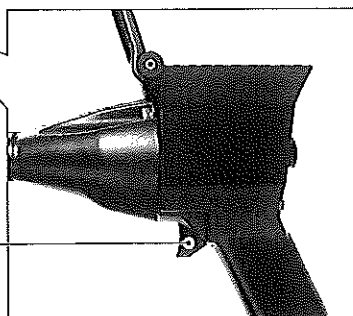
静止画として保存する

1. 本体の「STILL」トリガーを引く
2. 映像が保存されるとモニターに
「JPEG FILE SAVED」と表示されます。



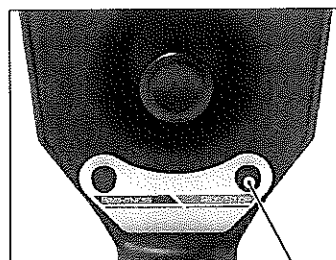
本体側面

【STILLトリガー】



動画として保存する

1. 本体の「REC/STOP」ボタンを押す。
録画がスタートするとモニターに
「BEGIN AVI RECORDING」と表示されます。



【REC / STOP】

2. 録画中に「REC/STOP」ボタンを押す。
録画がストップするとモニターに
「SAVING AVI FILE」と表示されます。

クイックマニュアル

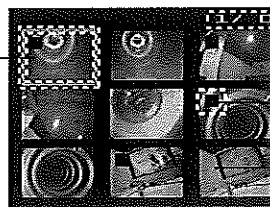
φ6.9MM
ARTICULATING VIDEO BORESCOPE
先端可動式デジタル内視鏡

VJ
ADV

保存した映像を確認する

取扱説明書 P.8

1. 操作パネルの  ボタンを押して、サムネイル画面を開く。
2.   ボタンで、画像を選択します。
青色のフレーム
→ 選択されたファイル
3.  ボタンを押すと、画像が一画面表示されます。
4. 動画の場合は、 ボタンで再生できます。
5. 一画面表示のまま、  ボタンを押すと、前後の画像に変わります。
6.  ボタンで、元の画面に戻ります。
※動画データには、画像左上に赤い印がついています。



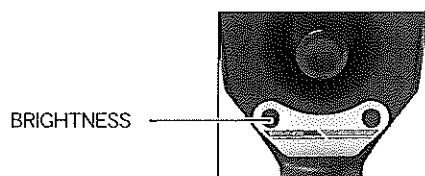
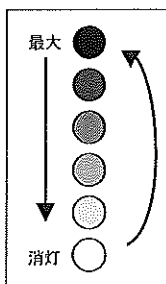
ページ数 サムネイル画面
赤い印がついている→動画
赤い印がついていない→静止画

明るさを調整する

取扱説明書 P.9/P.10

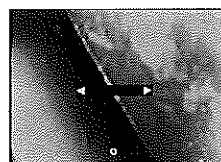
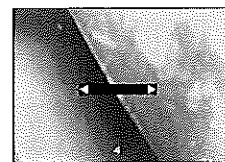
〈LED の光量を変更する〉

BRIGHTNESS ボタンを 1 回押すごとに
1 段階光量が下がります。
LED は、5 段階まで調整が可能です。



〈画像全体を明るくする〉

  ボタンを押すことで、画像全体の明るさが
変わります。通常のレベル「0」から、最大レベル「4」まで
上げることが可能です。



〈その他の機能〉

フラッシュ撮影機能 (静止画) 取扱説明書 P.13

1. 操作パネルの  ボタンを押します。
モニターに「CHARGING FLASH」の文字が表示され、カメラ映像画面右上に「F」マークが表示されます。
2. 表示後「STILL」トリガーを押すことでフラッシュ撮影となります。
※マイクロ SD カードを挿入した状態で行って下さい。
※フラッシュ撮影は、静止画保存のみ有効です。

ズーム機能 (電子ズーム) 取扱説明書 P.13

1. 操作パネル  ボタンを押します。
2. ズーム表示中、右上に「2×」マークが表示されます。キャンセルしたい場合は、再度  ボタンを押して下さい。
※マイクロ SD カードに保存される際には通常画面で保存されるズーム状態での保存は出来ません。
※ズーム時温度警告赤マークが出た場合は強制的にズーム機能が解除されます。

産業機器テクニカルサポートセンター電話受付

 **026-225-7733**

FAX : 026-225-7737

E-mail : industry@rfsystemlab.com

受付時間/AM10:00~PM6:30 (FAX/e-mailは24時間)
※受付時間外、土・日・祝日は、FAX/e-mailをご利用ください。

当社ホームページ

アールエフ

検索

さらに詳しい使い方は

VJ-ADV は、本クイックマニュアルで説明している使い方の他にも、さまざまな使用方法や各種設定をおこなうことができます。
さらに詳しい使い方や困ったときの対処方法などは製品取扱説明書をご覧ください。

JR-110101 S-15 ADV-0000

[重要]製品使用上の注意事項



人・動物の体内観察には絶対に使用しないで下さい。

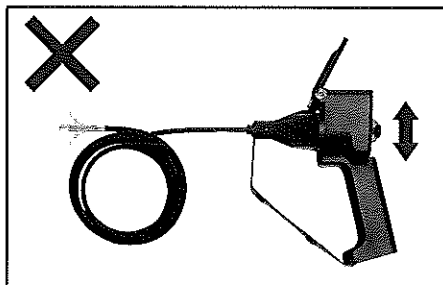
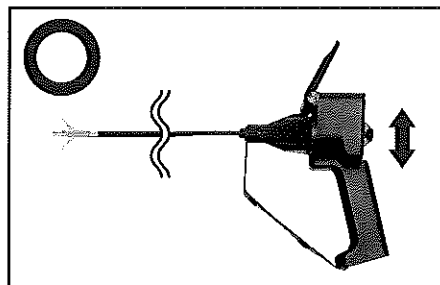
人・動物に損傷を与える恐れがあります。



挿入ケーブルの先端湾曲性能の低下、故障を防ぐため、可能な限り挿入ケーブルはまっすぐに延ばした状態でご使用下さい。

挿入ケーブルが巻かれた状態（ループ状）での使用は故障の原因となります。

また、ジョイスティックを可動させた時に異常な抵抗を感じた場合は、それ以上に可動させないでください。



挿入ケーブルの破損を防ぐため、鋭利な物や異物との接触を避け、特にガラス面への衝撃にはご注意下さい。

鋭利な物や異物の接触、衝撃によりガラスや部品が損傷して故障の原因となります。



適正温度・防水対応規定内以外での使用はしないで下さい。

※詳しくは取扱説明書P22「■製品仕様 使用温度」を参照

※VJ-ADVの場合は、取扱説明書 P26「■製品仕様 使用温度」を参照



爆発や引火の可能性のある環境下では絶対に使用しないで下さい。

爆発事故や火災を引き起こす可能性があります。

詳しい内容については、取扱説明書をご覧下さい。

アールエフ

www.rfsystemlab.com

株式会社アールエフ 長野本社 〒380-0935 長野市中御所3 TEL:026-225-7733 FAX:026-225-7737 industry@rfsystemlab.com

〔受付時間〕月～金曜日（祝・祭日を除く）AM10:00～PM6:30

Jr_VJpat100493_3X

側視レンズの取扱について



この部位は 傷がつきやすいので
取扱いには 十分注意してください

側視レンズのミラー部 傷サンプル



乾いた布等で清掃すると付着した砂等により
レンズに傷がはいります。

レンズ部は極力清掃をしないようお願いします。
どうしても清掃が必要となった場合は、

付属の「綿棒」に「LENS CLEANER」を滴るくらい
たっぷりとしみこませ、弱い力で清掃してください。

- 乾いた綿棒や布では絶対に清掃しないでください。
- 長時間 側視レンズに水滴をつけた状態で保管させると
ミラー部位の腐食原因になります。

側視ミラーに傷がはいると請求の対象となります。取扱いには注意してください。